

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【公開番号】特開 2007-243568 (P2007-243568A)

【公開日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2007-036

【出願番号】特願 2006-62722 (P2006-62722)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 9 日 (2009.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を撮影して画像情報を取得する撮影手段と、

前記撮影手段により取得された前記画像情報及び各種の視聴用情報を複数記録する記録手段と、

前記記録手段に記録された前記複数の情報を再生する再生手段とを有する情報記録再生装置と、

前記記録手段に記録された前記複数の情報を管理する管理装置と

を備える情報管理システムであって、

前記情報記録再生装置は、

前記記録手段に記録された前記複数の情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、

前記記録手段に記録された前記複数の情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備え、

前記情報削除手段は、前記撮影手段により取得される前記画像情報の記録容量を確保するように、前記複数の情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴とする情報管理システム。

【請求項 2】

前記管理装置は、

前記各種の視聴用情報を前記情報記録再生装置に送信する視聴用情報送信手段を備え、

前記情報記録再生装置の前記情報削除手段は、さらに、前記視聴用情報送信手段からの前記各種の視聴用情報の送信の際に、前記記録手段に記録された前記削除対象情報を削除することを特徴とする請求項 1 に記載の情報管理システム。

【請求項 3】

前記情報記録再生装置は、

前記記録手段に前記画像情報の記録容量が十分あるか否かを判定する記録容量判定手段と、

前記記録容量判定手段により前記記録容量が十分でないと判定された場合に、当該記録容量が十分でない旨を報知する報知手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報管理システム。

【請求項 4】

前記管理装置は、

前記記録手段に記録される前記複数の情報の各々のバックアップを行うバックアップ手段を備え、

前記特定情報記憶手段は、前記削除対象特定情報として、前記バックアップ手段により前記バックアップが既に行われているか否かに係るバックアップ済み特定情報を記憶し、

前記情報削除手段は、さらに、前記複数の情報の中から、前記バックアップ済み特定情報に基づいて前記バックアップが既に行われている前記情報を前記削除対象情報として特定することを特徴とする請求項 1～3 の何れか一項に記載の情報管理システム。

【請求項 5】

前記情報記録再生装置は、

前記複数の情報のうち、前記バックアップ手段により前記バックアップが未だ行われていない前記情報を前記管理装置に送信する情報送信手段を備え、

前記管理装置は、

前記情報送信手段から送信された前記情報を受信する情報受信手段を備え、

前記バックアップ手段は、さらに、前記情報受信手段により受信された前記情報のバックアップを行い、

前記情報削除手段は、さらに、前記バックアップ手段により前記バックアップが行われた前記情報を前記削除対象情報として特定することを特徴とする請求項 4 に記載の情報管理システム。

【請求項 6】

画像を撮影して画像情報を取得する撮影手段と、

前記撮影手段により取得された前記画像情報を複数記録する記録手段と、

前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、

前記画像情報を外部に送信する画像情報送信手段と、

前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備え、

前記情報削除手段は、前記撮影手段により取得される前記画像情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴とする撮影装置。

【請求項 7】

前記特定情報記憶手段は、前記削除対象特定情報として、外部の情報記録装置によりバックアップが既に行われているか否かに係るバックアップ済み特定情報を記憶し、

前記情報削除手段は、さらに、前記複数の画像情報の中から、前記バックアップ済み特定情報に基づいて前記バックアップが既に行われている前記情報を前記削除対象情報として特定することを特徴とする請求項 6 に記載の撮影装置。

【請求項 8】

画像を撮影して画像情報を取得する撮影手段と、

前記撮影手段により取得された前記画像情報を複数記録する記録手段と、

前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、

前記画像情報を外部に送信する画像情報送信手段と、

前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備えた撮影装置に内蔵されたＣＰＵによって実施される撮影方法であって、

取得される前記画像情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴とする撮影方法。

【請求項 9】

前記削除対象特定情報は、バックアップが既に行われている前記画像情報を前記削除対象情報として特定することを特徴とする請求項 8 に記載の撮影方法。

【請求項 10】

画像情報を複数記録する記録手段と、

前記画像情報を表示する表示手段と、

前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、

視聴可能な情報を外部から受信して前記記録手段に記録する視聴情報受信手段と、

前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備え、

前記情報削除手段は、前記視聴情報受信手段により受信される前記視聴情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 11】

前記特定情報記憶手段は、前記削除対象特定情報として、外部の情報記録装置によりバックアップが既に行われているか否かに係るバックアップ済み特定情報を記憶し、

前記情報削除手段は、さらに、前記複数の情報の中から、前記バックアップ済み特定情報に基づいて前記バックアップが既に行われている前記情報を前記削除対象情報として特定することを特徴とする請求項 10 に記載の画像表示装置。

【請求項 12】

画像情報を複数記録する記録手段と、

前記画像情報を表示する表示手段と、

前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、

視聴可能な情報を外部から受信して前記記録手段に記録する視聴情報受信手段と、

前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備えた画像表示装置に内蔵されたＣＰＵによって実施される画像表示方法であって、

前記情報削除手段は、前記視聴情報受信手段により受信される前記視聴情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴とする画像表示方法。

【請求項 13】

前記削除対象特定情報は、バックアップが既に行われている前記画像情報を前記削除対象情報として特定することを特徴とする請求項 12 に記載の画像表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報管理システム、撮影装置、撮影方法、画像表示装置及び画像表示方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像データ及び各種の視聴用データを複数記録するデジタルカメラ等の情報記録再生装置と、これら複数のデータを管理する管理装置とを備える情報管理システム、撮影装置、撮影方法、画像表示装置及び画像表示方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明の課題は、画像情報及び各種の視聴用情報の再生を行うことができる情報記録再生装置であっても、この情報記録再生装置に備わる記録手段の画像情報の記録容量の確保を適正に行うことができる情報管理システム、撮影装置、撮影方法、画像表示装置及び画像表示方法を提供することである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項6に記載の発明の撮影装置は、
画像を撮影して画像情報を取得する撮影手段と、
前記撮影手段により取得された前記画像情報を複数記録する記録手段と、
前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、
前記画像情報を外部に送信する画像情報送信手段と、
前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備え、
前記情報削除手段は、前記撮影手段により取得される前記画像情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項8に記載の発明は、
画像を撮影して画像情報を取得する撮影手段と、
前記撮影手段により取得された前記画像情報を複数記録する記録手段と、
前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、
前記画像情報を外部に送信する画像情報送信手段と、
前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備えた撮影装置に内蔵されたCPUによって実施される撮影方法であって、
取得される前記画像情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除

することを特徴としている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 10 に記載の発明の画像表示装置は、
画像情報を複数記録する記録手段と、
前記画像情報を表示する表示手段と、
前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、
視聴可能な情報を外部から受信して前記記録手段に記録する視聴情報受信手段と、
前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備え、
前記情報削除手段は、前記視聴情報受信手段により受信される前記視聴情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴としている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 12 に記載の発明は、
画像情報を複数記録する記録手段と、
前記画像情報を表示する表示手段と、
前記記録手段に記録された前記複数の画像情報のうち、少なくとも何れか一の情報を削除する情報削除手段と、
視聴可能な情報を外部から受信して前記記録手段に記録する視聴情報受信手段と、
前記記録手段に記録された前記画像情報の各々が前記情報削除手段による削除対象であるか否かに係る削除対象特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、を備えた画像表示装置に内蔵された CPU によって実施される画像表示方法であって、
前記情報削除手段は、前記視聴情報受信手段により受信される前記視聴情報の記録容量を確保するように、前記複数の画像情報の中から前記特定情報記憶手段の前記削除対象特定情報に基づいて前記削除対象情報を特定して削除することを特徴としている。